

令和4年度学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査結果について

県教育委員会では、県立学校におけるセクシュアル・ハラスメント防止に向けた取組の一環として、県立学校の生徒及び教職員を対象とした令和4年度アンケート調査（第1回・第2回）を実施した。

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ア 県立学校生徒のセクハラに対する理解を深めるとともに、県立学校におけるセクハラの実態を把握し、被害に対応する。
- イ 教職員及び生徒の注意を喚起し、セクハラ防止意識の向上を図るとともに、セクハラ行為の防止を図る。

(2) 調査対象等

ア 調査対象

- ① 県立高等学校（全課程）138校、県立中等教育学校（後期課程）2校、県立特別支援学校（高等部）29校の全ての生徒及び教職員（外部指導者を含む）。
- ② 調査対象人数は、生徒約118,400人、教職員等約15,900人。

イ 調査内容

- ① 生徒自身が受けたセクハラ及びその被害に対する具体的な対応等
- ② 他の生徒が被害を受けたことを見たり、被害を受けた生徒から直接相談されたりしたセクハラ及びその被害に対する具体的な対応等
- ③ 学校生活以外でセクハラについて、悩んでいた、困っていたりすること
- ④ 教職員が生徒に対して行ったセクハラについての、自己申告又は他の教職員による目撃情報（第2回のみ実施）

ウ 調査方法

- ① 生徒を対象とした調査
全生徒に対し、学校を通じて、アンケート回答用のURL及び二次元バーコードを記載した「調査のお願い」を配付し、各生徒は、自宅等でパソコン、スマートフォンなどから回答
第2回については、上記に加え、学校を通じて「回答用紙」を配付し、県教育委員会に郵送する回答方法も実施（ともに無記名可）
- ② 教職員等を対象とした調査（第2回のみ実施）
全教職員に対し、「調査用紙」を配付し、自身及び他の教職員のセクハラについて該当のある場合は、記名の上、具体的内容を記載して校長又は校長が指定した者に提出

エ 調査対象期間

- 第1回 令和4年4月1日から令和4年7月31日まで
- 第2回 令和4年8月1日から令和5年3月31日まで（7月31日以前の内容も回答可）
教職員については、令和4年4月から令和5年1月調査時点まで

2 調査の結果

生徒を対象とした調査

(1) 回答状況

回答件数 197件（内訳：男子56件 女子116件 不明25件）

第1回	140件	（内訳：男子36件 女子88件 不明16件）
第2回	57件	（内訳：男子20件 女子28件 不明9件）

(2) 回答の内訳

回答内容	件数	第1回	第2回
自分自身が被害を受けた	72件	(41件)	(31件)
他の生徒が被害を受けた	63件	(46件)	(17件)
学校生活以外でのセクハラについて、悩んでいた、困っていたりすることがある	62件	(53件)	(9件)
計	197件	(140件)	(57件)

(3) 自分自身が被害を受けたという回答のセクハラの実行者

セクハラの実行者	件数	第1回	第2回
先生	37件	(19件)	(18件)
生徒	32件	(21件)	(11件)
部活動の指導者(顧問の先生以外)	3件	(1件)	(2件)
その他	0件	(0件)	(0件)
計	72件	(41件)	(31件)

(4) 自分自身が被害を受けたという回答の被害内容（複数回答可）

被害の内容	件数	第1回	第2回
性的なからかいや冗談などを言われた	25件	(11件)	(14件)
必要もないのに体を触られた	24件	(11件)	(13件)
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	8件	(6件)	(2件)
着替え中に部屋に入ってきた	8件	(5件)	(3件)
「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	7件	(4件)	(3件)
キスや性的な関係を求められた	3件	(1件)	(2件)
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた	1件	(0件)	(1件)
その他	25件	(16件)	(9件)
計	延べ101件	(延べ54件)	(延べ47件)

(5) 「学校生活以外でのセクハラについて、悩んでいたり、困っていたりすることがある」という回答の記述内容の分類

内容	件数	第1回	第2回
痴漢	14件	(14件)	(0件)
過去の被害	7件	(6件)	(1件)
不審者	6件	(5件)	(1件)
アルバイト先での被害	5件	(4件)	(1件)
家族や校外の友人等からの被害	5件	(4件)	(1件)
性別による決めつけ	4件	(4件)	(0件)
ネットによる被害	4件	(3件)	(1件)
セクハラへの不安	3件	(3件)	(0件)
盗撮	3件	(2件)	(1件)
性的なからかい	2件	(2件)	(0件)
その他	9件	(6件)	(3件)
計	62件	(53件)	(9件)

(6) 回答に対する対応等

被害を受けたというすべての回答について、県教育委員会行政課から当該校の校長に対して回答内容を伝え、事実確認等の調査を依頼した。

調査の結果、教員による行為28件(19人)が確認された。その内容については、男性教員が男子生徒に対して「イケメンだね」などと言ったもの、熱中症を「ねーちゅうしよう」と言ったもの、服装指導の際に身体に触れたもの、体育の授業前後の更衣中に教員が授業準備等のために教室に入室したものなどであった。

校長は、調査結果を行政課に報告するとともに、結果を踏まえ、加害教職員が判明した場合は、当該教職員に直接指導するなどし、判明しなかった場合でも、教職員全体や生徒に対する注意喚起等の措置を講じた。

教職員等を対象とした調査

(1) 回答状況

回答件数 8校 13件 (校種内訳：高等学校8校)

(2) 回答の内訳

回答内容	件数
他教職員からの目撃情報等	11件
本人の申告	2件

(3) セクハラと言動の内容（記述内容の分類）

内容	件数
生徒との距離感の近さ（物理的、接し方）	5件
必要のない身体接触	3件
不適切な指導方法（面談場所、一对一の指導）	2件
性的なからかいや冗談	1件
体型等についての発言	1件
露出の多い服装	1件
計	13件

(4) 回答に対する対応等

すべての回答について、行政課から当該校の校長に事実確認等の調査を依頼した。

調査の結果、13件（9人）の教員による行為が確認された。その内容については、授業中の指導における女子生徒との距離が近いというもの、ウエイトトレーニングの指導で生徒の両膝に触れたもの、ケガをして保健室に来室した生徒の肩に触れたものなどであった。

校長は、調査結果を行政課に報告するとともに、当該教職員に対する指導等の措置を講じた。

3 総括

- 生徒を対象とした調査の設問内容を見直して、学校生活におけるセクハラとそうでないものを区別して把握できるようにしたことで、調査の精度が上がったと考えている。また、被害を受けた時間や場所、具体的な被害の内容について、より詳細に把握できるようにしたことで、事案の特定や被害への対応を適切に行うことができた。
- 「自分自身が被害を受けてどうしたか」の回答について、「友だち、家族など身近な人に相談した」「先生や窓口に相談した」「相手に伝えた」等、何らかの対応をした割合の合計は74%（前年度42%）で、「何もしなかった」の割合26%（前年度58%）を上回った。啓発や相談窓口の周知の成果と捉えている。
- 「他の生徒が被害を受けた」の回答の割合が全体の47%（前年度49%）であること、及び、「学校生活以外でのセクハラについて悩んだり困ったりしていること」の回答が62件あることなどからも、生徒のセクハラに対する意識の向上が見て取れる。

4 今後の対応

- 教職員によるセクハラの根絶に向けて、セクハラについての教職員の意識の一層の向上を図る必要があることから、調査の結果を踏まえて、生徒がどのような言動をセクハラと捉えているのかを具体的に示し、注意を促していく。
- 生徒間のセクハラ及び、学校生活以外でのセクハラ被害についての回答もあることから、生徒への啓発、相談窓口の周知を図っていく。
- 性別役割分業意識や性別にかかわる無意識の偏見等についての啓発も含め、生徒・教職員双方に対する人権教育を進めていく。

※ 調査結果の詳細（教職員の調査結果を除く）と調査資料は別紙のとおり

令和4年度学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメント の実態把握に関する調査結果について

1 セクハラの実態把握について

学校生活におけるセクハラについて、次の中から当てはまるものを選んでください。

校 種	ア 自分自身が被害を受けた			イ 他の生徒が被害を受けた		
	件数	第1回	第2回	件数	第1回	第2回
高等学校 中等教育学校	68	(40)	(28)	63	(46)	(17)
特別支援学校	4	(1)	(3)	0	(0)	(0)
計	72	(41)	(31)	63	(46)	(17)

○ 「自分自身が被害を受けた」の回答件数は72件、「他の生徒が被害を受けた」の回答件数は63件であった。

「学校生活以外でのセクハラについて、悩んだり、困ったりしていることがある」の回答件数は62件であった。

2 【質問1】① (自分自身が) 誰から被害を受けたか

【質問1】①

あなたは、誰からセクハラを受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。

回 答 項 目	件数	第1回	第2回
ア：先生	37	(19)	(18)
イ：生徒	32	(21)	(11)
ウ：部活動の指導者（顧問の先生以外）	3	(1)	(2)
エ：その他	0	(0)	(0)
計	72	(41)	(31)

○ 「先生」が37件、「生徒」が32件、「部活動の指導者（顧問の先生以外）」が3件であった。

3 【質問1】②-1 (自分自身が) どのような被害を受けたか (複数回答可)

【質問1】②-1

セクハラを受けたことについて、どのような被害でしたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数回答ができます。)

回答項目	件数	第1回	第2回
ア：携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	8	(6)	(2)
イ：携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた※	1	(0)	(1)
ウ：性的なからかいや冗談などを言われた	25	(11)	(14)
エ：必要もないのに体を触られた	24	(11)	(13)
オ：キスや性的な関係を求められた	3	(1)	(2)
カ：着替え中に部屋に入ってきた※	8	(5)	(3)
キ：「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	7	(4)	(3)
ク：その他	25	(16)	(9)
計	101	(54)	(47)

※令和4年度から新たに設定した回答項目

- 「性的なからかいや冗談などを言われた」が最も多く25件、次いで「必要もないのに体を触られた」が24件であった。

4 【質問1】②-2 (自分自身が) 被害を受けてどうしたか (複数回答)

【質問1】②-2

被害を受けて、あなたはどうしましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(イ～オは複数回答ができます。)

回答項目	件数	第1回	第2回
ア：何もしなかった	25	(15)	(10)
イ：態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた	23	(12)	(11)
ウ：友だち、家族など身近な人に相談した	31	(16)	(15)
エ：学校の先生や相談窓口などに相談した	15	(6)	(9)
オ：その他	4	(4)	(0)
計	98	(53)	(45)

- 「何もしなかった」は25件であった。「友だち、家族など身近な人に相談した」が31件で最も多く、「態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた」が23件、「学校の先生や相談窓口などに相談した」が15件であった。

5 【質問1】③ (自分自身が) いつ被害を受けたか (複数回答可)

【質問1】③

いつ被害を受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数回答ができます。)

回 答 項 目	件数	第1回	第2回
ア：朝のホームルーム前※	9	(6)	(3)
イ：授業中	18	(10)	(8)
ウ：休み時間中※	25	(17)	(8)
エ：昼休み時間中※	11	(7)	(4)
オ：放課後※	22	(13)	(9)
カ：部活動中	13	(7)	(6)
キ：その他	14	(8)	(6)
計	112	(68)	(44)

※令和4年度から新たに設定した回答項目

- 「休み時間中」が最も多く25件、次いで「放課後」が22件、「授業中」が18件、「部活動中」が13件であった。

6 【質問1】④ (自分自身が) どこで被害を受けたか (複数回答可)

【質問1】④

どこで被害を受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。※
(複数回答ができます。)

※令和4年度から新たに設定した調査項目

回 答 項 目	件数	第1回	第2回
ア：普通教室	43	(29)	(14)
イ：特別教室	5	(3)	(2)
ウ：教科準備室	2	(0)	(2)
エ：体育館や武道場	9	(4)	(5)
オ：グラウンドやテニスコートなど	8	(2)	(6)
カ：廊下や階段	13	(6)	(7)
キ：更衣室	2	(1)	(1)
ク：部室	2	(0)	(2)
ケ：その他	15	(8)	(7)
計	99	(53)	(46)

- 「普通教室」が43件で最も多く、次いで「廊下や階段」が13件、「体育館や武道場」が9件、「グラウンドやテニスコートなど」が8件であった。

7 【質問1】①、②-1、③ (自分自身が被害を受けた) セクハラ行為別の行為者、時間
(複数回答可)

<p>【質問1】 ①あなたは、誰からセクハラを受けましたか。 ②-1 どのような被害でしたか。 ③いつ被害を受けましたか。</p>

回答項目	①				② 件数 (再掲)	③				
	ア..先生	イ..生徒	ウ..部活動の指導者	エ..その他		ア..朝のHR前	イ..授業中	ウ..休み時間中 (昼休み含む)	エ..部活動中	オ..放課後・他
ア：携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	0	8	0	0	8	2	2	5	0	7
イ：携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
ウ：性的なからかいや冗談などを言われた	19	6	0	0	25	5	7	12	7	15
エ：必要もないのに体を触られた	8	14	2	0	24	5	5	14	7	13
オ：キスや性的な関係を求められた	0	3	0	0	3	1	1	2	0	3
カ：着替え中に部屋に入ってきた	7	1	0	0	8	1	2	8	1	1
キ：「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	4	3	0	0	7	3	3	5	0	5
ク：その他	18	6	1	0	25	6	12	10	5	9
計	56	42	3	0	101	23	32	56	20	54

8 【質問1】①、②-1、④ (自分自身が被害を受けた) セクハラ行為別の行為者、場所
(複数回答可)

<p>【質問1】</p> <p>①あなたは、誰からセクハラを受けましたか。</p> <p>②-1 どのような被害でしたか。</p> <p>④どこで被害を受けましたか。</p>

回答項目	①				② 件数 (再掲)	④				
	ア：先生	イ：生徒	ウ：部活動の指導者	エ：その他		ア：普通教室・特別教室	イ：教科準備室	ウ：体育館や武道場	エ：グラウンドやテニスコートなど	オ：廊下や階段その他
ア：携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	0	8	0	0	8	5	0	2	1	7
イ：携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
ウ：性的なからかいや冗談などを言われた	19	6	0	0	25	17	1	6	5	10
エ：必要もないのに体を触られた	8	14	2	0	24	13	1	5	5	17
オ：キスや性的な関係を求められた	0	3	0	0	3	3	0	1	1	4
カ：着替え中に部屋に入ってきた	7	1	0	0	8	9	0	0	0	2
キ：「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	4	3	0	0	7	6	0	2	1	2
ク：その他	18	6	1	0	25	21	0	3	2	9
計	56	42	3	0	101	74	2	19	15	52

- 「性的なからかいや冗談などを言われた」については、「先生」が19件、「生徒」が6件で、時間は「休み時間中（昼休み時間中も含む）」が12件で最も多く、場所は「普通教室（特別教室も含む）」が17件で最も多かった。
- 「必要もないのに体を触られた」については、「先生」が8件、「生徒」が14件で、時間は「休み時間中（昼休み時間中も含む）」が14件で最も多く、場所は「普通教室」（特別教室も含む）が13件で最も多かった。

9 【質問1】⑤（自分自身が受けたセクハラは）現在どうなっているか（複数回答）

【質問2】⑥

現在、そのセクハラはどうなっていますか。次の中から当てはまるものを選んでください。（複数回答ができます。）

回 答 項 目	件数	第1回	第2回
ア：被害を受けなくなった	28	(14)	(14)
イ：被害を受け続けている	32	(16)	(16)
ウ：二次被害を受けた	2	(2)	(0)
エ：その他	13	(12)	(1)
計	75	(44)	(31)

- 回答時の状況として、「被害を受け続けている」が32件、「被害を受けなくなった」が28件であった。

被害を受けたというすべての回答について、県教育委員会から当該校の校長に対して回答内容を伝え、事実確認等の調査を行った。事案が特定できた場合は加害者の指導や再発防止の措置等を図り、判明しなかった場合でも、生徒・教職員への注意喚起、相談窓口の周知などの措置を講じている。

参考

学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査結果概要

		令和4年度			令和3年度			令和2年度	令和元年度
		計	第1回	第2回	計	第1回	第2回		
対象生徒人数		約118,400人			約120,500人			約125,200人	約128,600人
① 自分自身が被害を受けた・他の生徒が被害を受けた生徒数	高等学校 中等教育学校	131人	(86人)	(45人)	189人	(129人)	(60人)	31人	29人
	特別支援学校	4人	(1人)	(3人)	1人	(1人)	(0人)	1人	10人
	不明	0人	(0人)	(0人)	0人	(0人)	(0人)	0人	0人
	計	135人	(87人)	(48人)	190人	(130人)	(60人)	32人	39人
② ①のうち自分自身が被害を受けた生徒数	高等学校 中等教育学校	68人	(40人)	(28人)	96人	(66人)	(30人)	24人	23人
	特別支援学校	4人	(1人)	(3人)	0人	(0人)	(0人)	1人	8人
	不明	0人	(0人)	(0人)	0人	(0人)	(0人)	0人	0人
	計	72人	(41人)	(31人)	96人	(66人)	(30人)	25人	31人
③ ②におけるセクハラ的行為者別行為件数	先生	37件	(19件)	(18件)	49件	(29件)	(20件)	13件	21件
	生徒	32件	(21件)	(11件)	28件	(23件)	(5件)	8件	10件
	部活指導者	3件	(1件)	(2件)	1件	(0件)	(1件)	1件	1件
	その他	0件	(0件)	(0件)	18件	(14件)	(4件)	3件	4件
	計	72件	(41件)	(31件)	96件	(66件)	(30件)	25件	36件
④ ②の被害内容の上位項目 (複数回答)	先生からの被害		①性的なからかいや冗談などを言われた ②着替え中に部屋に入ってきた	①性的なからかいや冗談などを言われた ②必要もないのに体を触られた		①必要もないのに体を触られた ②性別による決めつけ	①性的なからかいや冗談などを言われた ②必要もないのに体を触られた ②性別による決めつけ	①性的なからかいや冗談などを言われた ②必要もないのに体を触られた	①必要もないのに体を触られた ②性的なからかいや冗談などを言われた
	生徒からの被害		①必要もないのに体を触られた ②携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	①必要もないのに体を触られた		①必要もないのに体を触られた ②性的なからかいや冗談などを言われた	①必要もないのに体を触られた ①性的なからかいや冗談などを言われた	①必要もないのに体を触られた ②性的なからかいや冗談などを言われた	

せいと
生徒のみなさんへか な がわけんきょういく いんかい
神奈川県教育委員会れいわ ねん ど だい かいがっこうせいかつぜんぼん
令和4年度第2回学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する
ちょうさ ねが
調査のお願い

このたび、県教育委員会では、令和4年度第2回学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査を実施します。

「セクハラに関するアンケート」は、県立学校におけるセクハラ被害への対応と防止に向けた取組を進めることを目的に実施するので、ご協力ください。

回答内容は、調査の目的以外では利用しません。また、回答された個人情報などについては、秘密を守ります。ただし、セクハラ行為を止めるなどの具体的な対応が必要な場合を除きます。

かいとうほうほう
【回答方法】

パソコン、スマートフォンなどのインターネットに接続可能な機器から、下に記載したURL、又はスマートフォン用二次元バーコードを使って回答する方法と、学校で配付する回答用紙と返信用封筒を使って回答する方法があります。同じ回答内容については、いずれか一つの回答方法のみで回答してください。

令和4年8月1日(月)以降にあったことで、下に記載したスマートフォン用二次元バーコードの吹き出しに書かれた●の内容に該当する場合は、そのことについて回答してください。また、令和4年4月1日から7月31日までにあったことで、第1回のアンケートで回答できなかったことについても回答することができます。回答は、迅速に対応するため、できるだけ令和5年1月13日(金)までに回答してください。(令和5年3月31日(金)まで受け付けます。)

ちやくせつ
○直接リンクURLhttps://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=42463

○スマートフォン用二次元バーコード

つぎ
次の●に該当しない場合は、アンケートの回答は不要です。

- 学校生活の中で、自分自身がセクハラ被害を受けた。
- 学校生活の中で、他の生徒がセクハラ被害を受けた現場を見たり、被害を受けた生徒から直接相談されたりした。
- 学校生活の中のことでないが、セクハラについて、悩んでいた、困っていたりすることがある。

ほんちょうさ といあわ さき
【本調査の問合せ先】神奈川県教育委員会教育局行政課人権教育グループ

〒231-8588 横浜市中区日本大通 1 電話 (045) 210-8087 (直通)

STOP！ ザ・セクハラ/わいせつな行為

セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）とは、相手を不快にさせる性的な言動（発言や行為）のことをいいます。セクハラには、性別により役割を分担すべきとする意識にもとづいて相手を不快にさせる言動もふくまれます。

★不快と感じるかどうかは人によってちがいます。あなたが親しみのつもりで行ったことでも、相手が不快と感じれば、それはセクハラになってしまいます。

これは、男性から女性に対してだけではなく、女性から男性、あるいは同性に対しても同じです。

★生まれもった性と心で感じる性が異なる人や同性を恋愛対象とする人をからかうこともセクハラになります。

★セクハラ等の被害を受けると、不安な気持ちや恐怖心などから、学習意欲を失ったり、登校できなくなったり、学校生活を送るうえで重大な影響があらわれる可能性があります。

たとえば、こんなことがセクハラになります！

携帯電話などで、性的なメッセージや画像を送りつける。又は、送るように迫る。

容姿について話題にする。目のやり場に困る格好をする。

性的なからかいや冗談を言う。必要もないのに体に触る。

キスや性的な関係を求める。着替え中に部屋に入ってくる。

「男（女）にはまかせられない」「男（女）らしくない」など性別により決めつけられる。

脚などを写真に撮る。しつこくデートにさそふ。性的な体験をたずねたり話したりする。



注意してください！！

○教職員等（部活動インストラクターも含まれます）が、児童・生徒とSNSでやり取りをすることは禁止されています。また、児童・生徒の連絡先を収集する場合には、本人・保護者に目的を伝え、文書で承諾を得て、校長に届け出ることになっています。

○令和4年度第1回のアンケートでは、生徒による携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた被害が、複数件報告されています。携帯電話やSNSの不適切な使用は、大きな人権侵害を引き起こすことがあります。

○同じく、第1回のアンケートでは、被害を受けた生徒自身の対応について、「何もしなかった」と回答した件数が令和3年度第1回より減少しています。被害を受けた場合、一人で抱え込まずに誰かに相談するなどしてください。

もし、セクハラ等を受けたなら

○がまんしないで、相手に「やめてほしい」と伝えましょう。自分で伝えるのがむずかしいときは、身近な信頼できる人や学校の「校内人権相談窓口」に相談しましょう。

○身近な人や学校に相談しにくいときは、次の神奈川県立総合教育センターの相談窓口も利用できます。

★県立学校におけるセクシュアル・ハラスメントに関する相談窓口（県立学校児童・生徒対象）

※年末年始は除く

電話相談 0466-81-1967 平日 8:30~12:00/13:00~17:15

メール相談 総合教育センターホームページのメールフォームから

セクハラに関するアンケート(令和4年度第2回)

令和4年8月1日からこれまでのあなたの学校生活におけるセクハラについて、当
てはまるものの□にチェックしてください。

また、令和4年4月1日から令和4年7月31日までにあったことで、第1回のアン
ケート(7月にインターネットのみで実施)で回答できなかったものについても回答
することができます。

<input type="checkbox"/> インターネットで既に回答し ている	→	アンケートは終了です。アンケート 用紙を提出する必要はありません。
---	---	--------------------------------------

インターネットで回答をしていない場合は次の中から当てはまるものの□にチェッ
クしてください。Ⅰ～Ⅲの複数にチェックすることができます。

<input type="checkbox"/> Ⅰ：自分自身が被害を受けた	→	質問1に回答
<input type="checkbox"/> Ⅱ：他の生徒が被害を受けた	→	質問2に回答
<input type="checkbox"/> Ⅲ：学校生活の中のことはな くても、セクハラについ て、悩んでいたり、困って いたりすることがある	→	質問3に回答
<input type="checkbox"/> Ⅰ～Ⅲのいずれにも当てはまら ない	→	アンケートは終了です。アンケート 用紙を提出する必要はありません。

回答を記入した人

記入したこの用紙を配付した封筒(体罰調査・セクハラ調査返信用封筒)に入れ、できる
だけ令和5年1月13日(金)までにポストに入れてください。(1月14日以降も3月31日まで受
け付けます)

配付した封筒は、県教育委員会(〒231-8588 横浜市中区日本大通1 東庁舎10階 神奈
川県教育委員会教育局 行政課人権教育グループ)に届きます。

回答を記入していない人

この用紙は郵送しないでください。

ⅠからⅢに当てはまる場合には、まず、学校名等を記入してから質問に答えてください。

学校名・学年、そして高等学校の生徒においては課程を必ず回答してください。性別・氏名の記入は任意です。

学校名	課程	学年	性別	氏名
学校	全日制・定時制・通信制	年(年次)生		

【質問1】自分自身が被害を受けた場合の質問です。複数件ある場合、3ページのA欄、B欄に記入してください。

1 件目

- ① あなたは、誰からセクハラを受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(○は一つしかできません。二人以上の人から被害を受けた場合は、①から⑥の質問に回答した上で、3ページのA欄、B欄に記入してください。)

ア: 先生

イ: 生徒

ウ: 部活動の指導者(顧問の先生はア)

エ: アからウ以外(答えられる範囲で具体的に記入してください。)

- ②-1 セクハラを受けたことについて、どのような被害でしたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数○をすることができます。)

ア: 携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた。

イ: 携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた。

ウ: 性的なからかいや冗談などを言われた。

エ: 必要もないのに体を触られた。

オ: キスや性的な関係を求められた。

カ: 着替え中に部屋に入ってきた。

キ: 「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた。

ク: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)

- ②-2 ②-1で回答したことについて、あなたはどうしましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(イ~オは複数○をすることができます。)

ア: 何もしなかった。

イ: 態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた。

ウ: 友だち、家族など身近な人に相談した。

エ: 学校の先生や相談窓口などに相談した。

オ: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)

- ③ ②-1で回答したことについて、いつ被害を受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数○をすることができます。)

ア: 朝のホームルーム前 イ: 授業中 ウ: 休み時間中 エ: 昼休み時間中 オ: 放課後 カ: 部活動中

キ: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)

- ④ ②-1で回答したことについて、どこで被害を受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数
○をすることができます。)

ア:普通教室 イ:特別教室 ウ:教科準備室 エ:体育館や武道場 オ:グラウンドやテニスコートなど

カ:廊下や階段 キ:更衣室 ク:部室

ケ:その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)

- ⑤ ②-1で回答したことについて、現在、そのセクハラはどうなっていますか。次の中から当てはまるものを選んで
ください。(複数○をすることができます。)

ア:被害を受けなくなった。

イ:被害を受け続けている。

ウ:二次被害(※)を受けた。

エ:その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)

※二次被害とは、被害を訴えた人が、周囲の人から
無視や批判されたり非難されたりして、精神的打撃
を受けること。

- ⑥ ②-1で回答したことについて、セクハラの実行者や、受けた被害の具体的な状況・内容などを、詳しく説明して
ください。

1件のみの場合には、質問1は終了です。

他にもあなたが被害を受けた場合には、上で回答した①～⑥を参考に、2件目、3件目の枠内に記入してください。

記入する内容がなければ、質問1は終了です。

2件目 (A欄)

3件目 (B欄)

【質問2】他の生徒が被害を受けた場合の質問です。

あなたが、他の生徒が学校生活の中でセクハラを見たとき、被害を受けた生徒から直接相談された場合は、次の枠を使用して、「誰が、誰から、どのような被害を、いつ、どこで受けたか」等について、答えられる範囲で具体的に記入してください。

あなたが、他の生徒が被害を受けた現場を見たり、被害生徒から直接相談されたりしていない場合は、質問2は回答不要です。

※根拠のないうわさや悪口ではなく事実を書いてください。該当するものに○をつけ、()には文章等で記入してください。

- ① 誰が()
- ② 誰から ・先生 ・生徒 ・部活動の指導者(顧問の先生は先生)
 ・その他()
- ③ どのような被害か()
- ④ その後の対応は ・何もなかった
 ・対応した場合の内容 ()
- ⑤ いつ ・朝のホームルーム前 ・授業中 ・休み時間中 ・昼休み時間中 ・放課後 ・部活動中
 ・その他()
- ⑥ どこで ・普通教室 ・特別教室 ・教科準備室 ・体育館や武道場 ・グラウンドやテニスコートなど
 ・廊下や階段 ・更衣室 ・部室 ・その他()
- ⑦ 現在の被害の状況は ・被害を受けなくなった。 被害を受け続けている。 二次被害を受けた。
 ・その他()
- ⑧ 被害の具体的な内容について
 ()

【質問3】学校生活におけることではなくても、あなたがセクハラについて、悩んでいたり、困っていたりすることがあったら記入してください。特にない人は、質問3は回答不要です。

ご協力ありがとうございました。

令和4年12月 日

教職員のみなさんへ

神奈川県教育委員会

**令和4年度学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査
(教職員等用) について**

この調査は、教職員等のセクシュアル・ハラスメント (以下「セクハラ」という。) の未然防止や意識の向上を図るとともに、児童・生徒への被害に対応するため、県立学校の教職員等に係るセクハラの実態を明らかにし、児童・生徒への被害に適切に対応するという趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

本調査用紙は、令和5年1月13日(金)までに、校長または、校長が指名した者に直接提出してください。

氏 名 _____

- 1 あなたは、今年度(令和4年4月から現在まで)、学校内の指導全般において、児童・生徒に対してセクハラ、あるいは児童・生徒からセクハラではないかと疑われる行為をしたことがありますか。ただし、既にわいせつ事案による懲戒処分等を教育委員会から受けているものは除きます。

(はい ・ いいえ) →→→ 「はい」の場合は2へ

- 2 「はい」と答えた場合は、どのような言動であったかを、次の表の項目に沿って具体的に記入してください。複数回ある場合はその全てを記入してください。

いつ どこで	
誰 に	
どのような言動を行った	

- 3 あなたは、今年度(令和4年4月から現在まで)、学校内の指導全般において、自分以外の教職員等による、児童・生徒に対してのセクハラ、あるいは児童・生徒からセクハラではないかと疑われる行為を見たことがありますか。

(はい ・ いいえ) →→→ 「はい」の場合は4へ

- 4 「はい」と答えた場合は、どのような言動であったかを、次の表の項目に沿って具体的に記入してください。複数回ある場合はその全てを記入してください。

いつ どこで	
誰が	
誰に	
どのような言動を行った	